

骨密度検査を受けられる患者さんへ

当院では骨密度検査においてDEXA (dual-energy X-ray absorptiometry) 法を用いて、腰椎骨密度と大腿骨骨密度の測定を行います。

骨粗鬆症は骨の強度が低下して、骨折の危険性が高くなる病気です。一般に骨の強度は骨量あるいは骨密度が70%、骨質が30%影響すると言われています。したがって、骨の強度に重要な要因である骨量を測定することで骨粗鬆症の診断や骨折の危険性の評価が可能となります。

【検査について】

1. 検査は骨密度測定装置の検査台に仰向けの姿勢で行います。
2. 検査時間は約10分間です。検査中は身体を動かさないようにしていただきます。
※検査部位により測定時間は異なります。
3. 検査のための、食事・内服薬等の制限はありません。
4. X線を使用する検査のため、妊娠中の方は検査できません。

【検査値に影響があり、測定結果は信頼性が乏しいケース】

《腰椎骨密度検査の場合》

1. 骨密度測定前に造影剤やバリウムを使用した検査を行った場合
2. 腰椎圧迫骨折や変形（側弯・骨棘の過形成など）がある方
3. 大動脈（腰椎レベル）の石灰化がある方

《大腿骨骨密度検査の場合》

1. 股関節変形がある方

【骨密度検査料金】

	(腰椎・大腿骨)	(腰椎)
1割負担	450円	360円
2割負担	900円	720円
3割負担	1,350円	1,080円

※基本は2部位の測定となります。

骨密度測定装置



【骨密度測定装置「Discovery」HOLOGIC社製の特長】

当院採用の骨密度測定装置は従来の骨密度に加え、脊椎骨折分析機能を追加した機器であるため、より正確な骨折リスクの診断が期待されます。

DEXA法は、骨量測定の標準方法として重視され、骨粗鬆症の精密検査や、骨粗鬆症の治療効果の経過観察、骨折の危険性予測に有用です。

また、ベッドタイプの骨密度測定装置でベッド・アーム共に可動式であるため、被検者にかかる負担を軽減し、多彩な機能に加え、測定時間が短く、放射線被爆量も少ないという利点があります。

極めて少ない
X線を利用する
ので、女性のかた
でも、安心です。

着衣のままベッド
に仰向けになり痛
みもなく、簡単
に測定できます。

スピーディに
検査できます。
(測定する部位に
より多少時間は異
なります)

検査データは
保存されますので、
定期的な検査で
正確な診断が
できます。